

01234567892

情 報 局 編 輯

週 報

十一月十七日 號

ソロモン戦局の新展開

兵 役 法 の 改 正

麥 類 の 價 格 對 策

國 民 動 員 質 疑 應 答

占 領 地 區 へ の 進 出 要 領

航空常識講座
成層圏飛行⑥
三

370號

昭和十八年十一月十七日 第三四九七號

週 報

昭和十八年十一月十七日 第三四九七號

印刷局印刷發行

印刷局印刷發行 (國定規格A5判)

五 錢

郵便貯金通帳の無駄を一掃しよう

通帳の数は少くして預け高を多くすることが決戦を勝ち抜く貯蓄報國の道だ！

- 一冊の通帳も大切な資料です
新らしく預入申込をするときは古い通帳がないかよく調べてからにませう
- 通帳を何冊にも分けて預けるのは無駄です
据置貯金など二冊以上で預けてある場合は期間の長い方へ合併して一冊で預けませう
- 一ヶ月に何回も預けるのは通帳の壽命を短くします
少額の貯金は貯金函を利用して月一回位にまとめて預けませう

通 信 院 貯 金 保 險 局

情 報 局 編 輯

週 報

十一月十七日 號

ソロモン戦局の新展開

兵 役 法 の 改 正

麥 類 の 價 格 對 策

國 民 動 員 質 疑 應 答

占 領 地 區 へ の 進 出 要 領

航空常識講座 ⑥
成層圏飛行 三

370號

昭和十二年十一月十七日 星期一 郵務特准 日本郵便株式会社

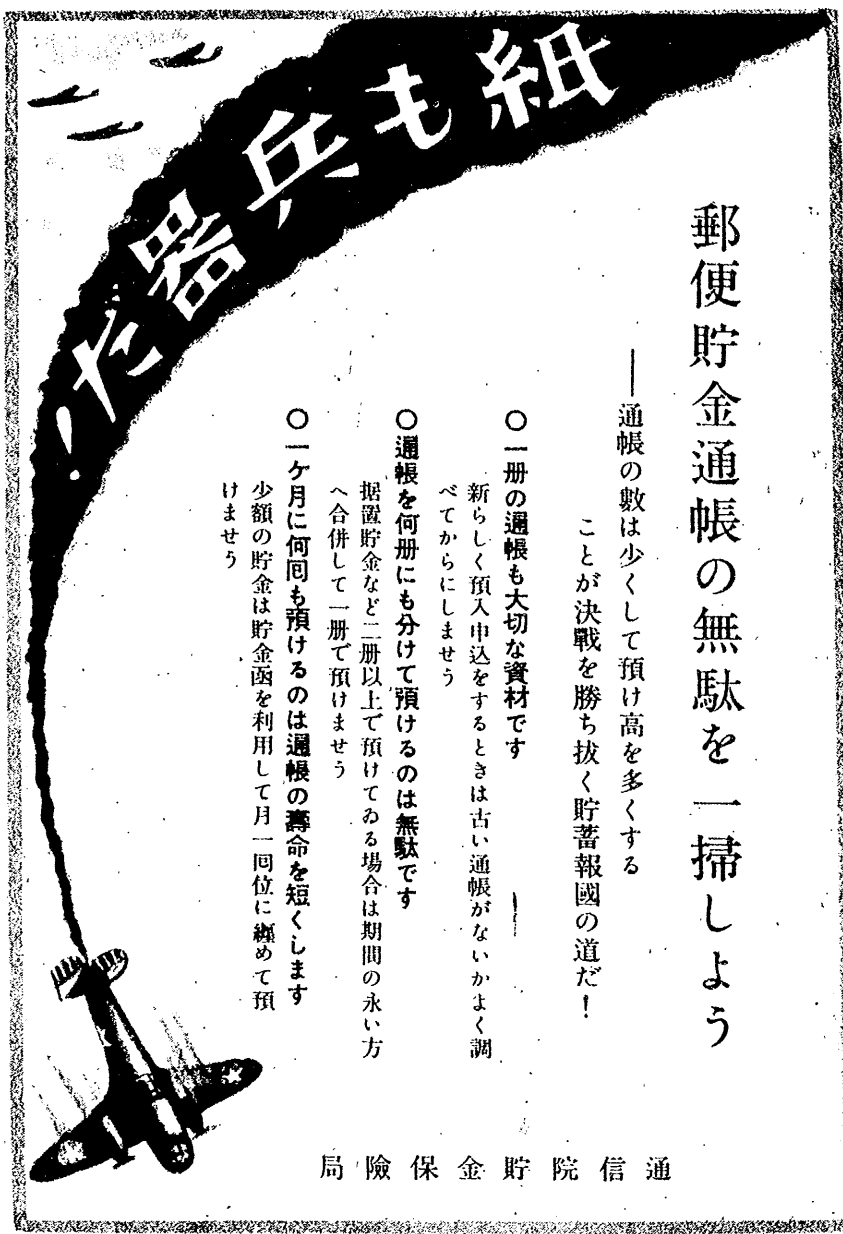
週 報

昭和十二年十一月十一日 第三種郵便物認可
昭和十二年十一月十一日 發行 (毎週一回水曜日發行)

印刷局印刷發行

(國定規格A5判)

五 錢



紙も兵も大

郵便貯金通帳の無駄を一掃しよう

— 通帳の数は少くして預け高を多くすること
— ことが決戦を勝ち抜き貯蓄報國の道だ！

- 一冊の通帳も大切な資料です
新らしく預入申込をするときは古い通帳がないかよく調べてからにませう
- 通帳を何冊にも分けて預けるのは無駄です
据置貯金など二冊以上で預けてある場合は期間の永い方へ合併して一冊で預けませう
- 一ヶ月に何回も預けるのは通帳の壽命を短くします
少額の貯金は貯金函を利用して月一回位に纏めて預けませう

通 信 院 貯 金 保 險 局

露光量違いにより重複撮影

週言

十一月八日に挙げられたブーゲンビル島附近の大戦果は、我々を熱狂せしめた。これこそは十一月二日以降の同島附近の戦果と合して、眞珠灣の大戦果以来の一大捷報であり、國民は歡呼の聲を發することにより、心の底に沈澱してゐた心配を一度に發散すると共に、「それ増産だ！」とばかり職域において奮ひ立つたのである。

我々は、二年前ハワイに、或ひはマレー沖に凱歌の擧つたとき、如何に欣喜抔舞したかを回想する。また開戦以來半歳に亘り、打續いた捷報に如何に歡聲を張りあげたかを想起する。而して如何に我々が緒戦の大戦果に酔ひ、心奢りしか、また昨年ガダルカナル撤収以來の戦局に心を痛めしかを思出すのである。我の大戦果に、徒らに狂奔し浮かれ、或ひは心奢るときは、我の形勢不利なるとき、悲觀し心沈み、意氣沈滞する處あることを我々は知らねばならぬ。

我々は、大戦果の報道に接したとき、これを心に強く噛みしめて味はひ、將兵の勞苦に感謝すると共に、戦局の將來に深き思ひを致し、浮かれず、奢らず、全身全我を傾けて戦力増強に傾倒するの覺悟を固めることを要する。

戦局の將來は、依然として重大である。「勝つて兜の緒を締めよ」は、大東亞戰爭下我々の守るべき戦陣訓である。我々は心に着たる兜の緒を一段と締め、反攻し來る敵を睨みつゝ、戦力増強に一層の努力を誓はんとするものである。



ソロモン戦局の新展開



大本營海軍報道部

畏くも、大東亞陸下には、今次ソロモン海域における聯合艦隊航空部隊の功を嘉せられ、十一月十一日、海軍軍艦長を召させられ、古賀聯合艦隊司令長官に對し、左の優渥なる勅語を賜はつた。

勅語

聯合艦隊航空部隊ハ今次ソロモン海域ニ於テ勇戦奮闘大ニ敵艦隊ヲ撃破セリ朕深ク之ヲ嘉ス
惟フニ同方面ノ戦局ハ益々端ヲ加フ汝等ハ無勇勳努力以テ朕カ信任ニ副ハムコトヲ期セヨ

海に畏き極みである。
十一月九日十六時の大本營發表並びに同日十五時の追加發表は、左の如き我が海軍航空部隊による赫々たる戦果を傳

撃沈 戦艦 四隻
巡洋艦 二隻
驅逐艦 三隻
輸送船 四隻
大型巡洋艦 六隻
巡洋艦 四隻
大型輸送船 一隻
自爆未帰還 合計十艘

この大戦果は、十一月八日朝以來、ブーゲンビル島南方海面において、我が海軍航空部隊が敵輸送船團並びに護衛艦隊に對して加へた猛攻によつて收めたもので、この航空戦を第二次ブーゲンビル島沖航空戦と呼稱されることになつた。
去る十月二十七日の敵のモノ島上陸以來、この第二次ブー

露光量違いにより重複撮影

言 過


十一月八日に挙げられたブーゲンビル島附近の大戦果は、我々を熱狂せしめた。これこそは十一月三日以降の同島附近の戦果と合して、真珠湾の大戦果以来の一大捷報であり、國民は歡呼の聲を發することにより、心の底に沈澱してゐた心配を一度に發散すると共に、「それ増産だー」とばかり職域において奮ひ立つたのである。

我々は、二年前ハワイに、或ひはマレー沖に凱歌の舉つたとき、如何に欣喜舞したかを回想する。また閉戦以來半歳に亘り、打續いた捷報に如何に歡聲を張りあげたかを想起する。而して如何に我々が緒戦の大戦果に酔ひ、心奢りしか、また昨年ガダルカナル撤収以來の戦局に心を痛めしかを思出すのである。


我々の大戦果に、徒らに狂奔し浮かれ、或ひは心奢るときは、我の形勢不利なるとき、悲觀し心沈み、意氣沈滞する虞あることを我々は知らねばならぬ。

我々は大戦果の報道に接したとき、これを心に強く噛みしめて味はひ、將兵の勞苦に感謝すると共に、戦局の將來に深き思ひを致し、浮かれず、奢らず、全身全我を傾けて戦力増強に傾倒するの覺悟を固めることを要する。

戦局の將來は、依然として重大である。「勝つて兜の緒を緊めよ」は、大東亞戦争下我々の守るべき戦陣訓である。我々は心に着たる兜の緒を一段と緊め、反攻し來る敵を睨みつゝ、戦力増強に一層の努力を誓はんとするものである。



ソロモン戦局の新展開



大本營海軍報道部

へ、一億國民に異常な感銘を與へた。

畏くも、大元帥陛下には、今次ソロモン海域における聯合艦隊航空部隊の功を嘉せられ、十一月十一日、海軍幕僚長を召させられ、古賀聯合艦隊司令長官に對し、左の優渥なる勅語を賜はつた。

勅 語

聯合艦隊航空部隊ハ今次「ソロモン」海域ニ於テ勇戦奮闘大ニ敵艦隊ヲ撃破セリ朕深ク之ヲ嘉ス
 惟フニ同方面ノ戦局ハ益々多端ヲ加フ汝等愈奮勵努力以テ朕カ信倚ニ副ハムコトヲ期セヨ

洵に畏き極みである。

十一月九日十六時の大本營發表並びに同日十五時の追加發表は、左の如き我が海軍航空部隊による赫々たる戦果を傳

撃 沈 戦 艦 四隻
 巡 洋 艦 二隻
 驅 逐 艦 三隻
 輸 送 船 四隻
 大 型 巡 洋 艦 六隻
 巡 洋 艦 (若くは大型駆逐艦) 四隻
 大 型 輸 送 船 一隻 (後上陸)

撃 破 十五機以上
 我が方の損害 合計二十機

この大戦果は、十一月八日朝以來、ブーゲンビル島南方海面において、我が海軍航空部隊が敵輸送船團並びに護衛艦隊に對して加へた猛攻によつて收めたもので、この航空戦を第二次ブーゲンビル島沖航空戦と呼稱されることになつた。

去る十月二十七日の敵のモノ島上陸以來、この第二次ブー

ゲンビル島沖航空戦に至る敵進攻作戦は、敵の執拗な反攻企
圖を示す一聯のもので、これを順を追って大別すると、

- (一) 十月二十七日、モノ島上陸に對する我が海軍航空部隊の攻
撃
- (二) 十月三十一日夜より十一月二日朝に亘るモノ島東方海面及
びブーゲンビル島西方海面における我が海軍航空部隊の攻
撃
- (三) 十一月一日夜、ブーゲンビル島ガゼレ海外における我が海
上部隊と敵艦隊との交戦(ブーゲンビル島沖海戦)
- (四) 十一月二日、ラバウル及びブカにおける來襲敵機との交戦
- (五) 十一月五日夕刻、ブーゲンビル島南方海面における敵機動
部隊に對する海軍航空部隊の攻撃(ブーゲンビル島沖航空
戦)
- (六) 十一月八日朝以來、ブーゲンビル島南方海面における海軍
航空部隊の敵輸送船団並びに護衛艦隊に對する攻撃(第二次
ブーゲンビル島沖航空戦)

等の如く、數次の戦闘にわかれる。以下、戦闘經過をたどりつ
つ、いよいよ重大なる段階に入つたソロモン戦局の様相を見
ることにしよう。

敵部隊、モノ島に上陸す

先づソロモン、ニューギニア方面における敵の反攻は、敵

航空基地が推進強化されるに伴ひ、逐日積量化しつつあつた
が、殊に我が部隊のコロンバンガラ島並びにベラベラ島よ
りの撤收後においては、敵はブーゲンビル島並びにその以北
に攻撃を集中、來襲する敵航空部隊の規模もまた逐次擴大さ
れるとともに、敵の攻撃目標は次第に我が戦略要線に接近し
つゝあつた。

かくて十月下旬に入るや、敵機の來襲はますます執拗猛烈
を極め、ブーゲンビル島の如きは來襲敵機一日平均百六十機
内外に及び、かゝる大規模かつ積極的反攻を敢へてする敵の
作戦企圖は、絶対に輕視を許さざるものがあり、我が方とし
ても警戒を一層嚴にして、敵の動靜を監視しつつあつた。

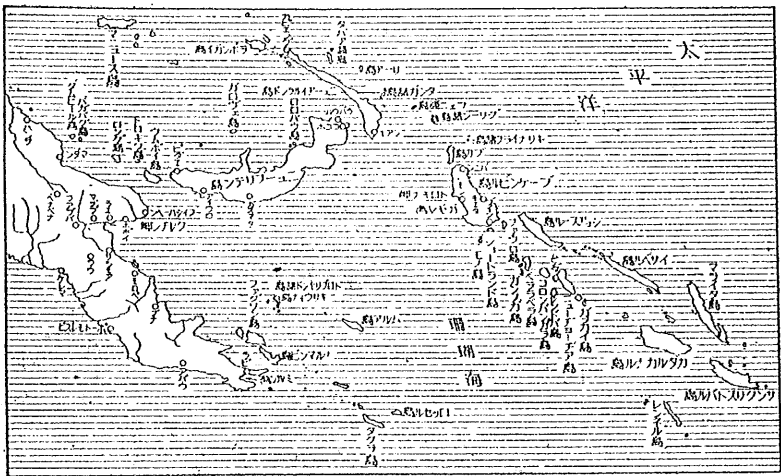
果然、十月二十七日、敵部隊は、遂にブーゲンビル島南端
の我が要衝ブインを距る約六十キロのモノ島に上陸し、こ
れを契機としてソロモン群島北邊の要地ブーゲンビル島奪回
をめざす敵の反攻企圖はいよいよ露骨となつて來た。

こゝに於いて我が海軍航空部隊は、時を移さず先づモノ島
上陸點附近の敵艦隊に攻撃を加へ、巡洋艦二隻及び大型輸送
船一隻を轟沈、小型輸送船一隻を撃沈、巡洋艦及び輸送船等
三隻を撃破して敵の出鼻を叩くと共に、附近海面一帯に亘つ
て索敵哨戒をいよいよ嚴重にし、一艇一機たりとも見逃さじ
と、精魂を傾けて周到緻密なる警戒網を張つたのであつた。

敵船團、ブーゲン ビル島に向ひ北上

果せるかな我が索敵機は、十月三
十一日朝、ガツカイ島の南方海面に
おいて多數の巡洋艦、驅逐艦に護衛
された數群の有力なる敵輸送船團が
北上しつつあるのを發見、沈着豪膽
に敵船團と接觸を保ちつつ、その動向
を監視し、敵の動靜を詳細的確に我
が基地に報告、基地航空部隊並びに
海上部隊は、萬端の準備を整へて好
機の際來を待つた。

一方、敵はガツカイ島南方からベ
ラベラ島南方を経て同島の西方を
通過、さらにモノ島西方を経て一路
北上を續け、三十一日夜、巡洋艦、
驅逐艦より成る敵の一隊は、ブーゲ
ンビル島北方のブカ島にある我が航
空基地に對し砲撃を加へ、さらにこ
の一隊は直ちに南下し、十一月一日



朝にはショートランド島の我が基地
に對しても砲撃を加へ、豫じめ我が
方の出撃を阻止せんと試みた。

既に敵部隊の出撃を知り、滿を持
しつゝあつた我が海軍航空部隊は、
三十一日夜より十一月二日朝にかけ
てモノ島東方海面及びブーゲンビル
島西方海面において、前記敵輸送船
團並びに増援部隊に對して連続猛攻
を加へ、

- △轟沈 大型輸送船二隻、△撃沈 巡
洋艦一隻、驅逐艦一隻、上陸用舟艇
四十隻以上
- △撃破 大型巡洋艦一隻、巡洋艦三隻、
は大型運送船一隻、大型輸送船二隻、
小型舟艇多數
- △撃墜 十機

といふ戦果を収めた。
この戦闘において我が方は、自爆
並びに未歸還十五機の尊い犠牲を出
したが、撃滅された敵輸送船並びに
舟艇には、多數の兵員、軍需品等が

満載されてゐたことは察するに難くなく、敵の蒙つた痛手は決して僅少ではなかつたのである。

一方、求敵必滅の決意も固く、勇躍南下しつゝあつた我が海上部隊は、トロキナ岬附近の敵上陸部隊の掩護と、我が艦隊の出撃阻止に當らんとした敵巡洋艦八隻、驅逐艦十五隻から成る大艦隊を、一日夜ブーゲンビル島ガゼレ灣外において捕捉、我が巡洋艦隊及び水雷戦隊は、帝國海軍傳統の肉薄攻撃を敢行、前後約一時間に亘つて激烈な砲戦、魚雷戦を交へ、敵艦隊に痛烈な打撃を加へた。即ち「ブーゲンビル島沖海戦」がこれであつて、擧げた戦果は

- △轟沈 大型巡洋艦一隻、大型驅逐艦二隻
 - △撃沈 大型巡洋艦二隻、巡洋艦(各々は大砲驅逐艦)一隻
 - △撃破 大型巡洋艦一乃至二隻、驅逐艦二隻
 - △その他驅逐艦一隻同士討にて炎上
- で、この間我が方は驅逐艦一隻沈没、巡洋艦一隻小破といふ損害を受けたに過ぎなかつた。

ラバウルの空中戦

右海戦後、我が海上部隊は速早く撤退したが、執拗な敵は、翌二日朝、二百數十機より成る大編隊を以て、我が艦隊を追尾してラバウルへ押寄せたが、豫てこのことあるを豫期

してゐた我が航空部隊、海上部隊及び地上部隊は、殺到する敵機を迎へて海空地一體の猛攻を加へ、

- △海軍航空部隊による撃墜 百二十七機(うち不詳機二十六機)
- △海上部隊による撃墜 五十一機(うち不詳機二機)
- △地上部隊による撃墜 二十三機

合計二百一機うち不詳機二十七機といふ敵機の大部分を撃墜といふ記録的戦果を挙げたのであつた。また同日、敵機約百三十五機がブカ島に來襲したが、我が地上部隊はそのうち三十九機を撃墜した。なほラバウルにおける空中戦において我が方もまた自爆、未歸還十五機の尊い犠牲を出したが、ラバウルの空中戦こそは、航空機の「量」を恃みとする敵の反攻に對して、我もまたこれに拮抗するに足る航空機の「量」を以てするならば、文字通り敵を全滅させることも決して難事でないことを事實によつて立證したものととして、特に重大なる意義を認めなければならぬ。

ブーゲンビル島沖航空戦

以上のやうに連日連夜に亘る我が軍の猛攻によつて、敵は甚大なる損害を蒙つたにも拘はらず、なほも頑強な戦意を示し、十一月五日午後五時十五分、我が未敵機は、巡洋艦四隻、驅逐艦五隻の直衛を配する敵航空母艦二隻が、ブーゲンビル

ソロモン戦局の重大化

かくて敵のモノ島上陸以來、第二次ブーゲンビル島沖航空戦にいたる一連の戦闘によつて、帝國海軍の收めた戦果は、次ぎの如き赫々たるものである。

- △轟沈 大型航空母艦一隻、大型巡洋艦一隻、巡洋艦四隻、大型驅逐艦二隻、大型輸送船三隻
- △撃沈 戦艦四隻、中型航空母艦一隻、大型巡洋艦四隻、巡洋艦一隻、巡洋艦(各々は大砲驅逐艦)三隻、驅逐艦四隻、輸送船四隻、小型輸送船一隻、上陸用舟艇 多数
- △撃破 大型巡洋艦九隻または十隻、巡洋艦一隻、巡洋艦(各々は大砲驅逐艦)五隻、驅逐艦二隻、大型輸送船三隻、小型輸送船一隻
- △撃墜 四百四機以上
- △撃破 四機

これに對し我が方の損害は、驅逐艦一隻沈没、巡洋艦一隻小破、自爆及び未歸還五十七機、飛行機損傷七機であつた。しかしながら、今回敵の實施せる反攻作戦は、戦略的に極めて重大視すべき作戦であつて、特に今次敵の出撃が、従來ソロモン方面において數次に亘り敵のとり來つた、いはゆる「島傳ひ」の反攻作戦とは、全くその性格を異にしてゐる點を注視しなければならぬ。即ち今次敵の反攻作戦において注目すべき諸點は

島上陸點に對する増援と、我が基地に對する攻撃をめざして北上中であることを發見、殊勳の第一報を基地に送れば、我が攻撃機隊は直ちに出勤、ブーゲンビル島南方、モノ島とウッドラーク島の中間海面において敵部隊を捕捉、日没後三十分の薄暮を利用して敵艦隊に強襲を加へ、我が必殺の雷撃は、狙ひ違はず敵大型航空母艦(鳥型)に命中すると見るや、忽ち大爆發を起して僅々二分間にしてその巨體は海面より没し去り、次いで他の中型航空母艦(新型)も大火災を起して間もなく沈没、直衛の大型巡洋艦二隻、巡洋艦(各々は大砲驅逐艦)二隻も相前後して沈没、こゝに敵空母集團は殆んど潰滅するに至つたのであるが、この間、我が方の損害は未歸還三機にとゞまり、正に壓倒的比率を以て敵を撃破し去つたのである。

右航空戦の戦果は次ぎの如くである。

- △轟沈 大型航空母艦一隻、△撃沈 中型航空母艦一隻、大型巡洋艦二隻、巡洋艦(各々は大砲驅逐艦)二隻

次いで十一月八日朝に至り、我が海軍航空部隊は、敵輸送船團並びに戦艦を基幹とする有力な敵護衛艦隊に對し、冒頭の大木營發表の如き大戦果を收めた。この戦果は實に開戦劈頭、眞珠灣奇襲によつて收めた驚異的戦果以來のものであり、しかも戦ひは今なほ続けられてをり、我が軍は敵を猛攻粉碎中であるので、戦果を更に擴大するものと豫想される。

(一) その目標を大東亞防衛の我が戦略要線に對し直接指向してゐること
(二) 敵の反攻企圖は極めて頑強かつ熾烈にして、大輸送船團並びに大機動部隊を我が基地に對し正面切つて出撃せしめたこと
(三) 敵が航空機の「量」を以てする強引なる反攻に對し、我もまた「量」を以て對抗すれば、敵を完全に壓倒し得ることとが立證されたこと等である。

従つてソロモン方面における今次敵の新作戦は、たとへ我が方の戦果が大いに擧るとも、絶対に輕々しく樂觀を許さざるものであつて、敵がその攻撃目標とし、且つ敵部隊の一部が既に上陸せるブーゲンビル島は、ソロモン群島北端に位置する我が重要な據點であるばかりでなく、敵の作戦企圖が同島を足場として、ラバウルその他大東亞防衛の我が戦略要線を突破せんとするにあることであつて、我が方としては是が非でもこの戦略要線を死守し、以て大東亞防衛の大使命を全うしなければならぬのである。

敵は數次に亘る進攻作戦によつて次第にその基地を推進し來り、しかもその進攻速度は漸次増大し、モノ島上陸を轉機として、大規模かつ強力なる航空部隊及び海上部隊を出撃させ、強引なる正攻法を以て一氣呵成に我が要衝の奪取を企つる

に至り、以前にも増して、航空機の「量」に物をいはず、正面から我を押し切らんとする驕慢不敵な戦法に出でたのである。今次の戦闘によつて、敵はたとへ一時的に痛撃を蒙るとも、さらに陣容を整備強化して再び反攻を企てることは必然である。孰れ一億國民は、この點をよく念頭に刻み込んで、かりそめにも今回の戦果に酔つて戦局の重大性を忘れ、或ひは敵の根強い戦意と實力を見極るやうなことがあつてはならない。

ラバウル上空における敵航空機隊からみても、如何に敵が航空機の「量」を以て攻撃し來るとも、我もまたこれに「量」を以て對抗し、彼我の量的差異を縮小すればする程、我が航空部隊の實力はますます遺憾なく發揮され、敵航空兵力の撃擯、延いては敵兵力を殲滅することも、決して難事でないことが瞭たる事實によつて明示されたのである。

換言すれば、今日、孰れにおいて航空機または艦船を二倍に増産するならば、それによつて前線の將兵は、より少く損害を以て我が方の戦果を五倍にも六倍にもすることが出来るのである。ソロモン戦局はいよいよ急を告げつゝある。今や一億國民は目前の戦果に酔つてゐる時ではない。前線の戦果に應ふる途は、たゞ一つ、この感激を職域に捧げ、一機でも多くの航空機を、一隻でも多くの艦船を一日も速かに前線に送ることである。

決戦態勢強化方策に即應する 兵役法の改正

一旦緩急あれば全國國民悉く身命を擲つて義勇公に奉ずるは、我が國民が三千年來、父祖より傳統の忠誠勇武の至純崇高な精神であり、萬邦比類なき國民皆兵の我が兵制は、實にこの精神を根柢として燦然たる光輝を放つて來たのである。さればこそ皇國に生を享けた者は、今日の苛烈な戦局に處して、殉患の赤誠奮勃として抑へ難く、擧つて敵火の中に身を投じ、醜の御楯の大任を果さんものと熱願してやまないのである。

この國民の眞情に應ふると共に、且つは敵が焦躁の餘り、莫大な犠牲を顧みることなく執拗に實施しつゝある

- 反攻作戦の機を促へ、これを徹底的に粉碎すべき必勝軍備確立のため、今回兵役法に大改正が加へられ、こゝに軍要員は著るしく擴充され、さらに併せて徴集の要領等も、一層現下の決戦に即應することになつた。
- 今回の改正の主な事項は左の四點で、以下その細部を説明しよう。
- 一 服役年限終期の延長
 - 二 臺灣同胞の服役
 - 三 入營延期または歸休制度の擴充
 - 四 徴集要領の改正

服役年限終期の延長

兵員として服すべき兵役の種類に

は、常備兵役、補充兵役、國民兵役といろ／＼あるが、そのすべての服役を終る年齢は、軍の要員充足に遺憾なからしめると共に、國民の體力等を勘案して決定さるべきで、戦争規模の擴大は軍要員の増加を要請し、自ら服役年限の終期の延長を必要としつゝある。

現に英國は勿論、人的國力に優越を自負するソ聯すら、いづれも五十歳まで服役することになつてをり、米國もたその召集實施が四十歳を遙かに越えてゐるのみならず、六十四歳までの者も、隨時これを召集できるやうに登録することになつてゐる。

我が國においては、國民皆兵の根本精神よりみれば、五十歳でも六十歳でも兵役に服させるのを適當とするのであるが、平時においては國民に必要以上兵役の負擔を課するよりも、寧ろ兵役以外の方面で十分活躍させるため、志願により將校または下士官となつた者

は別として、一般の兵員は滿四十年を以て服役を終ることになつてゐた。

そもこの兵役のすべてを終る年齢を四十年としたことは、明治五年の最初の徴兵令制定以來で、當時の國力からみて、恐らく元寇の役のやうな状況を豫想して、國家非常大變の際、各、その管内の守備要員とするといふので、外征軍に加へること等は、餘り期待してゐなかつたやうである。また事實、國運を賭して戦つた日清戦争でも、日露戦争でも、國民兵は一人も召集されなかつたのである。

しかし今日においては、戦争の様相は全く異つてゐる。試みに地圖を按じて日露戦争の頃、敵の死命を制した激戦地奉天附近の地理的關係を、今日遙か北方に擴大された滿洲國境の守備線より、北支、中支、南支の支那大陸、佛印、タイ、ビルマ、マライ、ジャワの南方戦線を経て、

ロモンの南東戦線、さらに大島島、南島島の中太平洋より北千島に亘る三百六十度の龐大な戦線に對比するならば、服役年限延長の必要は、多言を要せずして明らかであらう。

今回の改正規定は、公布の日、即ち本年十一月一日より施行され、その間に特別の扱ひはされない。従つて既に四十年を過ぎ兵役を終つた者も、未だ四十五年の三月三十一日に達してゐない者は、改めてまた服役するのである。この際、前の兵役を終つた際、第一國民兵役であつた者または第一國民兵役に入るべき役種にあつた者、即ち現役、豫備役または補充兵役の者で軍隊で教育を受けた者は第一國民兵役に服し、その他の者は第二國民兵役に服するのである。

今回の服役延長の趣旨は、いま直ちに四十歳以上の者を多數召集せんがためではなく、差當り若い年齢層の者の

中には、あまり多くゐないやうな特殊の技能を持つてゐる者を軍に活用するとか、或ひは比較的體力を要しない諸勤務要員の一部、特にその體力や家庭の事情等を考慮し、防衛召集の要員等にこれを充當し、若い元氣な青年は第一線に補充して、戦力の強化を圖らんとしたものである。

臺灣同胞の服役

皇國の臺灣統治以來、年を閉するに既に五十年、無窮の皇恩に浴して臺灣同胞の皇民教育は著しく徹底し、特に最近の時局認識の昂揚により、その報國の熱誠は燃ゆるが如きものがある。昨年来施行された特別志願兵制は、未だ日なほ淺きに拘はらず、豫想以上の成果を収めてゐるのみならず、特別志願兵以外の者でも、或ひは軍屬として戦線に立ち、第一線將兵に伍して直接作戦に献身寄與した功績は顯著な

ものがある。即ち、選ばれて従軍した者は、皇軍の一員として用ふるに足ることを立證して餘りあるので、この赤誠に應ふると共に、併せて臺灣統治の劃期的發展に寄與すべく、徴兵制を施行されることになつた。

さきに朝鮮に、今また臺灣に徴兵制が施行され、決戦下、真に一億の國民悉く皇軍の兵員に加はり得る榮譽ある制度が確立され、敵米英撃滅の戦力は急速に増大し、いよ／＼必勝の確信は強化された次第である。しかしながら臺灣同胞を内地人と同じやうに多數徴集して、精強無比の皇軍の中に加へ、しかもいよ／＼皇軍の眞價を發揮せんがためには、今後一層周到な準備と十分な努力とが必要である。

なほ臺灣同胞が徴集されるのは、既に閣議決定の通り昭和二十年からの豫定であるが、具體的の期日は追て勅令を以て定められることになつた。徴兵

制施行準備のためには、國語の教育もなほ格段の普及徹底を必要とし、體力の錬磨も現況を以て満足することは出来ない。戸籍の整備も緊急の用務である。

しがじながら徴集準備の中で最も重要なものは、實に皇民精神の徹底である。義は山嶽より重く、大君の御爲に身命を捧げることが、鴻毛より輕しとする忠節の精神の錬磨體得である。しかもこれは獨り臺灣内にゐる臺灣同胞に對してのみならず、内地にゐる者も中々に及ばず、支那、南方にゐる者も齊しく同じ心構へで準備の完璧を期さねばならない。

入營延期または 歸休制度の擴充

先般、軍の要員取得の必要に基づき、學徒をして速かに現下決戦に參與させるため、在學徵集延期はこれを全

面的に停止されたのであるが、醫科または理工科等の一部の者は、全般の情勢の許す範圍において、その課程修得に必要な期間、修學を繼續させ、有爲の幹部として現在以上の實力を以て勤務させるため、徴集した年度内にこれを入營させることなく、さらにその時期を延期させるを要する者があるので、命令の定むるところによつてこれを延期し得ることになつた。

この入營延期は軍事上、修學を繼續させるを要する者に限定されてゐるので、從來の徵集延期の如く本人の願ひによるものとは根本的に異り、高度の國家性を附與されてゐることがその特色である。

また本人の身分は、徴兵検査で現役に決定せられた者は、その服役起算の日、分り易くいへば徴兵検査を受けた年の十二月一日から現役に服するのである。従つて形においては、入營延期

國民動員 質疑應答

も徴集延期と同様、學生服を着て今までと同じ學校に通つて勉強するのではあるが、その心構へは全然異なるし、また軍としても必要と認めれば、在學中といへども躊躇することなく入營させるのである。

一部では、このやうな取扱は國家將來のため教育を甚だしく不安定にさせるものではないかとの意見も聞くが、元來が徴集延期の停止に伴ひ全員を入營させるべきもので、これを入營延期にするのは、一に軍事上の必要に基づくもので、教育上の都合は一應考慮には加へられるが、基礎的要件にはならぬ。

このやうに教育が不安定の状態になるからこそ、好んで行ふべきにあらず、戦時の特例として取扱はれてゐる所以である。もし教育の便宜を更に配慮できる状態ならば、強ひて入營延期の如き處置を必要としない。在學徴集延期

を或る程度制限することで十分目的を達する。これを許さなかつた時局の要請を深く味はねばならない。

以上のほか部隊における教育や、作戦の要求に即應する輸送の状況に適應させる等のため、廣く歸休または入營延期の取扱をなし得ることになつた。

徴集要領の改正

これまで徴集人員の比較的少かつた頃は、單に入營するものが一地方に偏らぬやう徴集の地域的公平を重視し、内地にある内地人については、本籍地で徴兵検査を受ける見込の人員を基礎として徴集兵員を配賦し、その本籍地から全國同じ比率で現役兵または第一補充兵を徴集してゐたのであるが、軍要員の激増に伴ひ、苟くも兵業に堪へ得る兵員は、現役兵は勿論、補充兵も、さらに一部の國民兵までも入營させられてゐるので、その比率を嚴密に

要求するも、實際は現役兵として入營するか、補充兵として入營するか、或ひは國民兵として入營するかで名稱は異つても、その在營年數はだいたい同じである。

従つて軍として現に入營せる兵員の體力の強弱を周密に調査し、體力に適應する兵業を課し、しかも訓練と保育との調和を圖することは勿論であるが、徴集上の取扱として從來のやうな方法を適當とせざるに至つたのみならず、必ず本籍地で徴集するといふ方法では、戦時下敏捷な事務處理にも支障を生ずるので、實情に應ずるやうに改められた。

なほまた、現制の徴集順序を定めるといふことも、必要に應じてこれを省略し、要すれば同一體格等位のものも全員同順位で、簡單に徴集することも出来るやうに改正せられた。

陸軍省

入營を理由に解雇

問 私は十二月入營する者であります。あとには扶養を要する幼い弟妹を残してあります。店主は、このたびの従業禁止を理由に解雇すると申してをりますが、かやうな雇主の態度は、正當なものでせうか。

答 十二月に入營するまでは、その禁止職種に従業しても差支へありませんし、入營應召中は雇主關係は存続してゐても、現に使用従業の關係は存在しないのでありますから、このたびの従業禁止を理由に解雇しようとする店主の態度は正當ではありません。

まして、出征軍人の後顧の憂ひをなぐするものが、銃後國民の當然の責務であるのですから、店主の再考を促したいと考へます。なほ、お困りの節は雇役所の軍人援護係または銃後奉公會にご相談下さい。

問 應召・應徵解除者の除外期間
陸海軍に應召・應徵して原職に復歸し

たときは、一年以内、原職に従事できる由ですが、これは禁止期日後に解除された者に適用されるのですか。それとも、例へば、この十月に解除になつた者は明年十月まで免除されるのですか。

答 陸海軍に徴集または召集された者で、徴集または召集の解除のため原職に復歸し、復歸後一年(軍務服後期間が一年未満の者はその期間)を経過しないものは、原職が禁止職種であつても、何等の手續なく右の期間だけは従事できることになつてゐます。

これは禁止期日以前に解除された者にも適用されます。即ち今年十月解除になつて原職に復歸した者は、明年十月まで本禁止の適用を除外されるわけです。

見習は差支へないか
大原卒業生を採用する場合、當分の見習として禁止職種に従はせることは許されますか。(尾崎 登井 氏)

答 將來中堅幹部とするため短期間、臨時見習のため禁止職種に従事させることは差支へありません。

病弱者の禁止職種就業

問 病弱者は、從來通り禁止職種に従事してよいこととありますが、私は療養中のところ全快して、禁止職種程度の仕事ならば働ける自信がありますので、就職したいと思ひます。宜しいでせうか。その場合の手續をお教へ下さい。

答 國民職業指導所の認可があれば、指定職種に従事することが出来ます。

この場合、一定期間の後には通常の職務に堪へるやうになると認められるときは、期限附認可をする豫定です。認可の手續は國民職業指導所で相談下さい。

外地は適用しない

問 今度の従業禁止は朝鮮、滿洲國、中華民國等にも適用されますか。

(朝鮮、石井秀司)

療養費、休業中の扶助料のほか、身體に障害を残したものは、その障害の程度に応じて障害扶助料を、事業主が負擔することになつてゐますが、國家の施設としては、現在はありません。生計にお困りのやうですが、不具の場合でもそれに應じた職場もあることですから、國民職業指導所に相談され、適職に就かれて生計の方途を講じて下さい。

保健婦になりたい

問 保健婦になりたいと思ひます。養成課程がありましたら、内容をお知らせ下さい。(長女、御子)

答 保健婦學校(講習所)として厚生大臣の指定したものが、現在全國に三十九(東京都内に十)あります。この學校(講習所)を卒業すれば、保健婦の免許が受けられます。

學校(講習所)には三種類あつて、第一種は「高等女學校またはこれと同等

答 朝鮮、臺灣については、内地と勤勞事情が異なるので、本制度の運用も別個に取扱はれ、内地の規則は適用されません。従つて、この實施については、朝鮮、臺灣各地で、目下それらを考慮中です。

また、滿洲國、中華民國には本制度は設けられていません。

中國人も働きたい

問 私は一中國人ですが、今日の日本は決戦態勢をみては、じつとしてはあられませんが、中國人としての勤勞はどうしたら宜しいでせうか。(田村、藤田)

答 内地在住の中國人に關する男子従業禁止の適用については、國民職業指導所長が認可の上、繼續従業を認めうることにしてゐますが、しかし緊要産業方面に進んで挺身して働くことは、まことに結構ですので、なるべくその意向に副ひたいと思ひます。所轄警察署とご相談の上、華處して下さい。

妊産婦の勤勞奉仕

問 町内會婦人部の勤勞奉仕に妊産婦や乳兒を抱へる者まで出勤を強制してゐますが、参加せねばなりませんか。(富田、瀧野子)

答 妊産婦や乳兒を擁する婦人の保護は、戦時下民族力の維持増強上、絶対に必要なことでありまして、かやうな婦女子で明らかに出勤の困難な者を強制的に参加させることは、まことに望ましくありませんし、意圖してゐるところではありませんから、隣組長、町内會長に篤とご相談下さい。

勤勞報國隊員の障害扶助

問 私は去る五月、常磐炭坑で勤勞報國隊員として参加作業中、落盤のため不具者となり、生計に困つてゐますが、國家の救助施設はありませんでせうか。(福島縣、菊池義秋)

答 あなたの場合には、一般従業員と同様に、その事業主が相當の扶助をすることになつてゐます。治療に要する

以上の學力を有する者」を入學資格とし二ヶ年、第二種は「看護婦たる資格を有する者」を入學資格とし六ヶ月、第三種は「産婆たる資格を有する者」を入學資格とし一ヶ年、それぞれ修業することになつてをります。

このほか、地方長官の施行する保健婦試験に合格し、三ヶ月以上の保健婦業務の臨地訓練を経た者も、保健婦の免許が受けられるやうになつてゐます。

なほ詳細は、都道府縣衛生課または直接、厚生省健康局滋養課へお問合せ下さい。

女子の職業輔導所

問 決戦下の日本女性として微力ながらご奉公したいと思ひますが、國營の職業輔導施設がありましたら、内容をお知らせ下さい。(前井、北川英子)

答 國營の職業輔導所は、沖繩縣を除いた各都府縣の主要な都市に設けられてをり、就職に必要な技能を短期間

に教へてゐます。女子の職業輔導施設を含めて全國に約二百ヶ所ありますが、今度さらに女子の勤勞動員促進の要請に應へて、女子職業輔導所を全國に六十ヶ所増設し、年内に開所することになつてをります。

輔導所では、心身の錬成と共に、整備された機械と材料を使つて、専門の指導員が技術の指導に當ることにしてをります。

輔導科目その他の内容の概略は、次ぎの通りです。

輔導科目：…旋盤工、仕上工、製圖工、検査工、化學分析工、鍍金工、事務員
輔導期間：…一ヶ月または二ヶ月
経費：…交通費等として手當若干支給

手 續：…最寄の國民職業指導所へ申込んで下さい。
なほ貴女の縣内には、福井市に福井機械工輔導所があります。

なぜ買入価格を 引上げたか

大東亞戦争の現下の情勢から、この十一月から出された昭和十九年度に於ける主要食糧の需給計画は、これまでのやうに外米で補填することが出来なくなつた。勿論、これまでとて、外米の輸送は、出来るだけ戦力増強の障礙とならないやうに、いろいろと苦心に苦心を重ねて来たのであるが、最近のやうな決戦に次ぐ決戦の段階にあつて、外米の輸送に船舶を割くことが許されないことは、すでに一般がよく知つてゐる通りである。

増産をどうやるか 麦類の価格対策

軍需資材を輸送することは、戦ひに勝たんとする以上、どうしてもこれを實現しなければならぬが、主要食糧は生産者と消費者がその心算になれず自給できないことはないのである。さて本年度は、このやうな覚悟で乗り切らなければならぬ年なのであるが、それならばこれから來年の十月までの昭和十九年度の需要を賄つてゆかねばならない供給の方面はどうなつてゐるのか。主要食糧の大宗といはれる米については、過日第一回の豫想收穫高の發表があつたやうに、ほぼ收穫の見通しもついて、今はその供出に萬全の努力がかけられてゐる状態であり、また米の代替食糧として、その増産に大きな期待がかけられてゐた甘

藪の收穫も、だいたいの見當がついて漸く出廻期に入りつゝあるわけである。そこで米と甘藪の勝負がついてしまつた今日、集中的に期待と心配が大きく投げかけられてゐるものは、いま盛んに播種されてをり、來年の六月頃その收穫がほぼ確定される麥類である。その上、この麥こそは、米に次いで主要食糧として最も重要なものであるから、この供給力が具體的に未知數であるだけに、これから成育しようとする麥類に依存するところは、極めて大きいものがある。即ち、この麥類の増産が豫期以上に達成され、順調に集荷されるならば、それだけ昭和十九年度の主要食糧の需給は豊富に堂々と乗り切れるわけであり、端境期の困難もそれだけ明朗に克服されるわけである。またもし逆

に、今後の麥類の増産が意の如くならず、従つてその供出も低調であるやうなことだとすれば、それこそ天の試練にもめげず、肥料、勞力等の不足などあらゆる生産上の障礙に打ち克つて擧げ得た十八年度産米の成果も、甘藪の増産も、最後の一步といふところで大きな困難に突き當るやうなことになる。しかもぬとも限らないのである。

萬が一にもこんなことがあつてはならないのであり、前線の將兵にも申譯がないことになるので、政府においても麥類の作付段別の増加、段當り收穫の確保につき、それ／＼適切と考へられる施策を樹立し、實施に移して來てゐるのである。麥類の作付段別の増加、段當り收穫の確保は、これを單に肥料の附からみても、「麥は肥料で作る」といはれてゐるほどの作物であるにもかゝらず、現下の客觀的情勢からすれば、肥料の完備を期し得ない實情にあり、これが對策としては堆肥の

増加による等、麥類増産の成果を擧げるためには、専ら農家勞働の量的、質的強化に依つてはかばかないものが多いのである。

農家の方々も既に正しくこの間の事情を諒解されて、黙々として食糧増産の成果をめざして挺身されてゐるのであるが、主要食糧確保のこの重大な時期における要請を一層明確にして、増産に邁進する農家に一層増産意欲の昂揚を期待するためには、十九年度麥類の政府買入価格を現下の實情に即應する生産費を補償する程度に引上げることが、差迫つた必要事であつたのである。

買入価格はどうか 決められたか

十九年度麥類の買入価格が、本年度麥類の買入価格に比べてかなりの引上げをみた趣旨は以上の通りであつて、去る十月二十九日に開催された食糧管理委員會の審議を経た上で、次ぎのやうにその標準買入価格が決定された。

大麥(一俵入り)	一四〇(二百兩)	三〇(四〇)
大麥(二俵入り)	一四〇(二百兩)	三〇(四〇)
稈麥(一俵入り)	一三〇(二百兩)	二五(三〇)
小麥(一俵入り)	一三〇(二百兩)	二五(三〇)

この標準買入価格からも現はれるやうに、主要食糧として増大した麥類の

郵便年金の話

(一) 敵の總反攻の熾烈化と共に、戦局は刻一刻と苛烈の度を加へて來ました。この焦眉の難關を突破してよく征戰の目的を達成する途は、私ども一億が總躍起して戦力を飛躍的に増強し、第一線へ一機でも一隻でも多く送るほかはありません。

申すまでもなく、莫大な兵器彈藥等の増産には、さらに高度の経済力が必要であります。この度、戦力増強のために思ひ切つて國內決戦態勢を強化するに當つて、これと並行的に國民貯蓄を増強することになつたのを見て、戦力の増強に對する國民貯蓄の役割が如何に大切であるかが分ります。

(二) この國民貯蓄の一翼として、いま全國的に郵便年金の普及運動が行はれてゐますので、次に郵便年金のだいたいをお話しましょう。

郵便年金は國民生活、殊に老後の生活を保障する制度であつて、郵便局を通じてこの年金に加入し、一定の掛金を拂込んで置くこと官吏の恩給のやうに年々定まつた年金を受取る仕組になつてゐるものです。

大東亞戦争を戦ひ抜く私どもは、今までのやうに老後を樂隠居に過すといつた氣持は捨て去つて、若い者と一緒になつて大東亞の戦域に立ち働かなければなりません。この場合、老後の生活の保証があるかないかでは、仕事の能率に大いに關係して來ます。この意味からいつて郵便年金は、

重要性を基礎とし、麥類の生産費事情を十分考へた結果、米價に對する麥類價格の比率は、昨年の場合よりも多少向上を示してゐる。しかし、これがために、また米價を引上げるといふやうなことになるので、循環的な價格引上げのから廻りを繰返さないやうに、米價との均衡には十分苦心をしてゐるのである。

なほ麥類相互間の價格比率については、昨年の場合と比べて、小麥に對する大麥、稗麥の地位が多少改善されてゐるが、これも從來大麥、稗麥が主要食糧確保の見地からは、小麥に比べて低位にあつた事情から、それらの生産費事情をみて決定されたのである。

賣渡價格は

すことになる見込なので、精麥の小賣價格は或る程度引上げて、精米の小賣價格の範囲内ならば、國民の生計費を脅やかすことにはならないわけであるから、大麥、稗麥及び精麥用の小麥の賣渡價格は、若干引上げる豫定であるが、既に新米、小賣價格との均衡を考慮して決定されてゐる製粉と醸造用小麥については、その賣渡價格は据置の方針である。従つて政府の買入價格の引上げは、大部分國庫の負擔となる勘定である。

尤も、麥類の賣渡價格の引上げは今すぐ實施するものではなく、來年麥類の出廻る頃に正式に決定されるはずである。

食糧自給の決意を固めよう

大東亞戦争の現情勢上、國民の主要食糧は絶対にこれを自給しようといふことは、強い眞剣な要請なのであつた。

て、今回の麥類の政府買入價格の中に、この固き決意が反映されてゐるといひ得るのであり、こゝに麥類の地位も國民主要食糧の供給力を左右し得るものとして、大きく前面に押し出されて來たのである。

まことに、もし來年産の麥類が豫期以上の大成果を挙げ得たならば、この年度の食糧供給を安泰にするばかりでなく、翌年度への移行に當つても大きな餘力を持ち得るのであるから、農家の方々も十分現在の食糧事情を理解され、生産上のいろ／＼な困難や障壁のあることも十分覺悟の上で、必ず麥の増産に勝ち抜きやう、緊陣一番、大いに挺身して戦ひたいと同時に、消費者各位も麥類買入價格の引上げに伴ふ國庫の負擔の大なる點を正當に理解され、あらゆる角度から食生活を反省して、心から協力されるやう期待するのである。

(農商省)

南方陸軍占領地区の進出要領

本年三月十九日、陸軍省から「南方進出者の指針」と題して、南方陸軍占領地区へ進出できる人の範圍とか、渡航手續、進出者への注意等が發表されましたが、今回その一部を改め、いはゆる軍政要員及び特に軍の指示を受けた者以外の渡航者の手續事務は、一切大東亞省で行ふことになりました。軍政要員といふのは陸軍司政長官、陸軍司政官、陸軍技師、陸軍理事官、陸軍通譯官、陸軍監、陸軍技手、陸軍通譯生等でありまして、これ等の人々の進出手續に關しましては、これまで通り直接陸軍省で取扱はれるのですが、その採用方法は、陸軍省から内閣に對し、希望の人数、擔任事務、資格等を出し、内閣はこれを各官廳にはかり、その推薦で決定されることになってゐますから、軍政要員を希望する人々は、

所屬官廳や會社等から正式の手續を経て、各自の専門技能に従つて各省に申出て、その推薦によることになつてをります。なほ軍では官吏、民間人等から特別技術その他の専門的業務に従ふ人を、その必要に基づいて、一時的に陸軍屬託に任命し、軍政要員とすることがありますが、これ等は直接陸軍で募集してをります。特に軍の指示を受けたものといふのは、以上のやうな人達を指すのですが、なほ軍政機關を始め、各種の司令部等に勤務すべき衛生、タイピスト、馬丁、運轉手、給仕、電話交換手等もこれに含まれるわけで、これ等の人々は留守業務擔任部隊(司令部等)は歸國希望の上、現地に派遣されることになつてゐます。以上の諸件についての不審の點は、陸軍

南方政務部宛にお問合せ下さい。

渡航できる者の範圍

今度、大東亞省で進出適格者を發掘し、渡航の事務を行ふやうになつた範圍は、産業、財務、交通等の處理のため、現地進出を政府によつて決定され、かつ軍の委託によつて定められた業務に従つてゐる、いはゆる企業擔當者と、大東亞省の在留地から内地に引揚げてゐた現地復歸希望者並びに一般渡航希望者等でありませう。従つて、受命の企業擔當業者から自發的にその従業員を現地に送り出す場合でも、或ひは現地軍を通じて要請される場合でも、すべてこの範圍内にあるわけですが、徒らに生活の安易を求め、漫然と南方に渡航してから自由に仕事を見つけたといふやうな考へで進出を希望してゐる人や、二、三の參考書を讀み、現地から歸還の人などの話に魅了されて、一攫千金の夢を抱いて急に南方行を思ひ立つたやうな人、または、かつての自由奔放な生活に慣れて現地復歸を急いでゐるやうな人々、さらには、たゞ復歸したいといふだけで、現地に歸つてからの成算を立ててゐない人

達、収入や待遇の點だけを考へて進出しようといふやうな人は、すでにその動機が間違つてゐるのですから、全くの問題外であります。

渡航者の銜

大東亞省では、前記の範圍内の渡航者について、いろいろな角度から十分の調査をし、必要の場合には、地方官廳や警察署等に連絡し、既に渡航が適當と認められる者を發掘するのでありますから、決して従來よりも南方進出が容易になつたわけではなく、大東亞省諸地区における諸民族の指導者として、また飛船者として適格な人物の渡航を要請し、十分の銜衝を行ふ次第で、企業擔當者や指定の各團體は、眞に帝國國民として恥づかしくない有爲な人物を派遣するやう考へていただきたいと思ひます。

鍊成について

この意味で、進出する各人は大東亞省の指定する鍊成所の鍊成を経た者でなければ渡航できない、といふことになつてをります。ついでには鍊成を受くべき人達は、大東亞

省總務局録帳へ問合せ、その指示を受けられるのがよいでせう。

渡航手續

前記の範圍内の進出希望者は、左記の書類を取揃へ、外地にあつては外地官廳、内地にあつては下記指定團體を経由して大東亞省に、またそのいづれにも含まれない者は、直接大東亞省に提出すればよいのであります。

- 一、渡航許可證(下附願書一通、大東亞省宛)
- 二、身許申告書(一通、同)
- 三、本人の兵役、賞罰履歴に關し、市町村長の認證を取付ける必要が有りますから、本籍と現住所も記入して下さい。
- 四、なほ都合によつては、身許申告書の代りに、履歴書一通と市町村長發行の身許證明書(復歸時)を添付して提出してもよいのであります。
- 五、戸籍抄本(一通)
- 六、健康診斷書(一通)

南方地域は氣温が高く、湿度も非常に高いから、呼吸器系統に幾分でも障害のあるやうな人は、絶対に進出を控へるべきで、胃腸の弱い人達もまた考へねばなりません。

せん。

- 五、最近撮影した露真三葉(露真四葉、露真三葉)半身のもので結構ですが、できるだけ顔の部分を主としたものがよい。
- 六、家族の復歸の場合には、一緒に撮影したもので結構ですが、あまり大型にならないこと。
- 七、保證書(一通、大東亞省宛)企業擔當業者等から要員を派遣する場合は、その派遣責任者の保證書が必要で、復歸者などの場合には、それを取換ふ指定團體が保證することになつてをります。
- 八、現住地所轄警察署の身許證明書(二通)進出者の性質によつて提出を要求することになつてをります。
- 九、その他、特に参考となる書類のある場合には、その書類。

つまり、現地軍から發行した一般渡航者の呼寄證明とか、或ひは現地在留者からの呼寄書のやうなもの。

なほ渡航許可證(下附願書、身許申告書、保證書等の様式は、朝鮮、臺灣、關東局、南洋廳等の外地官廳、大東亞省指定團體、移民組合聯合會(府廳支部)に在りて發給

等に備付けてあります。
 指定團體や企業擔當の會社等では、各人からのこれ等の書類を取揃へ、一括整理の上、大東亞省に提出することになつてをります。

兵役關係

南方進出者の銜階に方つては、徴兵検査の年の者と徴兵検査後翌年十一月末日までの者は、兵役免除者を除き他は全部充當しないことになつてをります。徴兵検査を猶豫してゐる者も同様です。

なほ滿四十五歳以下のもので、渡航の許可を受け、かつ兵役に關係ある者は、全部進出前に本籍地の役場宛に海外在留の届出をする必要があります。

その他渡航手續申請者のうち、特に本籍地聯隊軍司令官の許可を必要とする者があつた場合には、大東亞省で銜階の際、その旨を通知することになつてをります。

指定團體

一、一般渡航者(自費)は、海外移住組合聯合會と同地方機關で取扱ひます。
 ただし復歸者と同家族の呼寄せ等に關しては、マライ半島ではマライ協會、舊南洋印地亞では與南地元會、ビルマ、比島地區は海

外同胞中央會を経由、海外移住組合聯合會に提出し、その他の渡航者は、海外移住組合聯合會または南洋協會、南方院等を経由し、海外移住組合聯合會に提出して下さい。

企業擔當者關係

1. 農林關係
 - イ、棉花及び紡績關係 日本棉花栽培協會
 - ロ、砂糖及びブタノール關係 日本糖業聯合會
 - ハ、黄麻、苧麻關係 原麻生産協會
2. その他 南方農林協會
3. 木造船關係 南方陸軍木造船組合
4. 鑛業關係 海外鑛業協會
5. 水産關係 南洋水産協會
6. 交易關係 交易協會
7. 電氣通信運送關係 國際電氣通信株式會社
8. 附屬關係 南方附屬統制組合
9. 自動車關係 全國貨物自動車運送事業組合聯合會
10. 企業擔當者關係 あらゆる種類に互つて進出してゐるので、以上の指定團體のどれにも包含されないものが多數あるわけですが、これらは直接大東亞省に申請書を提出すれば結構で、擔當事業の性質などによつて團體を指定し、できるだけ總めてゆくことになるでせう。

渡航相談所

海外移住組合聯合會と同支部(各府縣南洋移住組合)に南方渡航相談所が設けられてゐますから、南方進出希望者は、こゝへ連絡して相談して下さい。

南洋協會にも同様の設備があり、南方衛生に經驗のある場託國が在り、南方進出の適不適を本人の體質や健康状態等で判断し、適切な助言を行ふやうにしてゐます。

大阪南方院でも、同様の設備により相談に應ずる筈です。
 なほ移住組合聯合會、南洋協會、南方院等は、企業擔當者等に入社し、南方進出を希望する人達の相談にも應ずることになつてゐますから、右爲有能の人を求めようとする企業擔當者側でも、これらを利用するのがよいでせう。

成層圏飛行



航空常識講座 第六回

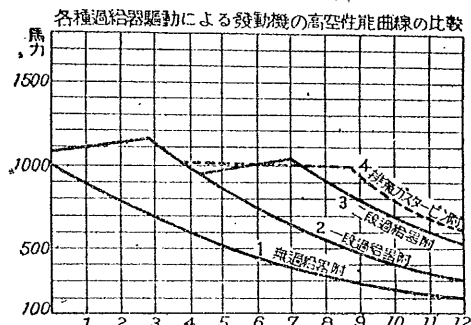
成層圏飛行(その三)

前回の(その二)で成層圏とはどんな所か、とらふことと、成層圏飛行を行ふ意義について述べ、(その二)で成層圏飛行に關聯して解決しなければならぬ技術的諸問題のうち、機體關係の問題を一應説明したが、次に原動機と、推進機構と、空氣力學上の問題及び飛行に關する問題に入らう。

高々度用發動機の馬力減少の對策

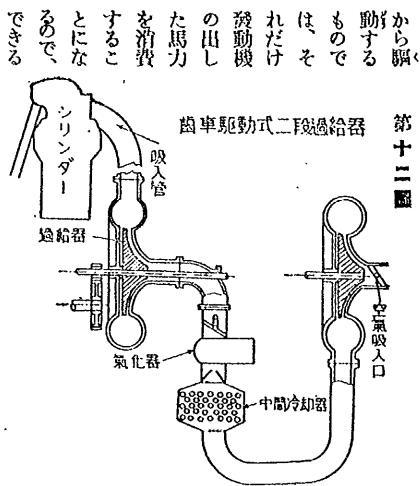
發動機は燃料と空氣を混合し、これを燃焼させて馬力を得るといふ機構をもつてゐる。この馬力の低下する割合は、一、空氣密度と高度における空氣密度との比の一、三乗に比例すると考へられ、それだけ空氣量が減

ることになるから、そのまゝでは、馬力の減少するのは當然である。
 この馬力の低下する割合は、一、空氣密度と高度における空氣密度との比の一、三乗に比例すると考へられ、それだけ空氣量が減



減少を防ぐ
 第一にこの過給器の能力は一段では高度四キロから六キロ位まで地上馬力をほぼ維持できるが、それ以上の高度になると二段式過給器にしなければならぬ。ただし過給器を強力にする、發動機

状態となる。例へば、この間から分るやうに、地上で千馬力の發動機が、そのまゝで高度十二キロまで上ると、約一二%となつて百二十馬力となつてしまふ。これは前回に述べたやうな成層圏飛行によつて速度向上ができるどころでなく、かへつてとんどん速度が減つてしまふ。
 そこでこれを解決するには、高空へいって、高度も或る程度まで地上とほぼ同程度の空氣密度を持つた空氣を發動機に送り込んで、馬力減少を防ぐ



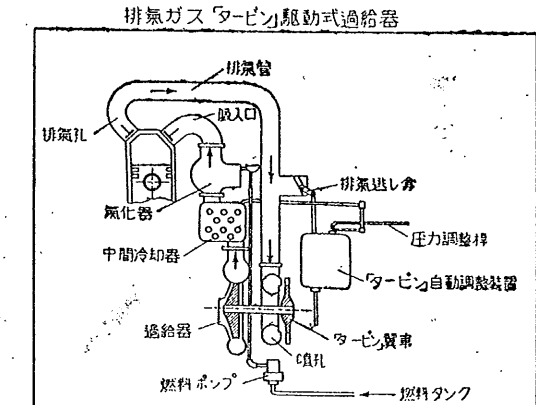
から願
動する
もので
は、そ
れだけ
發動機
の出し
た馬力
を消費
するこ
とにな
るので
できる
だけ過給器の消費馬力を小さく
して、しかも軽量のものを造ら
なければならぬ。

この點を解決するために現は
れたのが、發動機で燃料が燃焼
した後の排気のエネルギーを利
用する排気ガスタービン式過給
器である。

第十二圖および第十三圖は、一
齒車駆動式二段過給器および排
気ガスタービン式過給器の構造

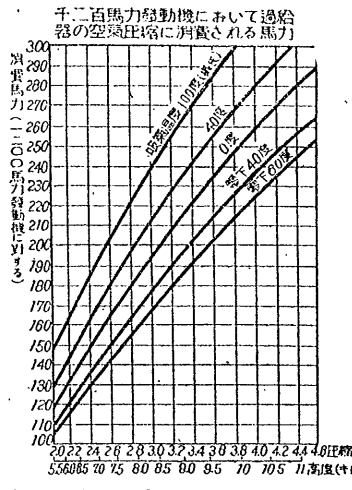
を示す説
明図であ
る。第十四
圖は、齒
車駆動式
過給器の
冷却
に消費さ
れる馬力
の程度を
示す一例
である。

をそのまゝ發動機に送つたので
は、發動機の効率が悪くなるの
で、これを途中で約百度以下
に冷却
する必
要が起
る。こ
の冷却
器を一
般に中
間冷却
器と稱
する。通
常、普
通の汽
化器の
前に置
いてお
くが、
この冷
却効率
と空
抗力がまた問題になる。
以上がだいたい高々度用發動
機に對し、現在行はれてゐる馬力



では、高々度にゆくと空気温度
は前述のやうに低下するが、そ
れよりも、空気密度が高々と共
に減少する。このほかに
高々度發動機としては、汽化器
の氷結防止の問題や、低温低
圧に對する
マグネッ
トの問題
等がある
が、次ぎ
に過給器
と同程度
に大きな
問題とな
るのは發
動機自體
の冷却機
式の問題
である。
空気で
直接發動
機を冷や
す空冷式

第十四圖



に減少するための放熱の悪くな
る方が大きく効いて来るので、
空冷式は高々度機には相當不利
となる。

一方、液冷式では、冷却液の沸
騰點が高度と共に幾分低下する
ことを防げば、餘り冷却の困難に
遭遇しないこと、飛行機全體
の形を十分整形できる點で、高
性能の高々度機には液冷式發動
機が一般に有利とされてゐる。
また、この馬力減少と關係

して問題
になるの
は、燃料
消費率の
問題であ
る。前述
のやうに
成層圏飛
行は航線
性能の向
上が大き
な狙ひの
一つであ
るが、こ
の航線性
能の向上
は、航線
距離に影
響するの
は、飛行
機の全備
重量と燃
料格
載量が與
へられる
と、
警備索費
がその状
態でいつ
も最大値
に近
くなるや
うに飛は
なければ
なら
ない。即
ち、航線
距離に影
響を
與へるも
のは、發
動機では
燃料
消費率が
最も大き
く効いて
来る
のである。
いま例へ
ば巡航常
用馬力二
千

馬力の飛行機が、A發動機では
重量一ト八百キロで、燃料消費
率が〇・二八(馬力/時)とし、B發
動機では重量一ト五百キロで、
燃料消費率が〇・二(馬力/時)と
すると、約五時間以上飛行する場
合にはAの方が重量的に有利とな
る。
このことは發動機自體が幾分
重くても、長距離飛行では、高空で
燃料消費率の少いことが特に大
切であることを示してゐる。
この意味で燃料消費率の少い
(尖鋭〇・二六〇・二四(馬力/時)、し
かも過給器で高温になつた空
気を冷却する中間冷却器を必要と
しないディーゼル發動機が高々
度大型機では非常に有望とな
る。
すなはちディーゼル機では、
壓縮した高温の空気を吸入した
方がかへつて効率がよくなり、

またガソリン發動機の場合のや
うに、高温空気が吸入による燃料
のアンチノック性の低下の問題
が少くなる。
以上のほかに發動機と關係し
て、燃料が低温低圧状態に凝固
點が低く、揮發性の適性な異状
燃焼の起きないやうな燃料を得
るために、イソパラフィン炭化
水素を混入するとか、燃料槽に
適當な壓力を加へる等の對策を
講じなければならぬ。
推進機に對する對策
現在の飛行機はプロペラ型式
によつて、抗力が打ち克つて前進
するための推力を得てゐるが、こ
のプロペラが高々度へゆくと、
また大きな障礙にぶつかると、
これは高空にゆくに従つて、
音の速度が減少するので、早く
音の速度が減少するので、早く
空気の壓縮性による影響が効い
て来て、空気に衝撃波が発生し
て、プロペラの作用をしなくな
るといふことである。

今この原因を少し説明してお

かう。
飛行機の翼の周りの空気を考
へると、空気の圧力の小さいと
ころでは速度が大きくなり、圧
力の大きいところでは速度が小
さくなるのはよく知られた事實
である。この現象は、例へば人込みのひ
どい所では速く動けないが、人込みの少い
ところでは速く動けると同じである。

そこで、空気は膨張するの
よつて壓縮または膨脹するの
で、空気の密度も變化するのであ
るが、その變化は、壓力の代り
に先の關係から速度について考
へると、音の速度の約六割以内
では壓力が變つても、空気の密度
が殆んど變らないと考へても
大した差がない。ところが速度
が音速の約六割以上になると、
急に空気の性質が變つて来て、
空気が音の波の粗密の波が發
生して来る。この波を衝撃波と
稱してゐるが、この波が出来る

と急にプロペラや翼の抵抗力が増
して揚力が減少し、音速に達す
ると翼が本来の役をしなくなつ
てしまふのである。

この音速の約六割のところを
一般に臨界速度といつてゐる。
次に問題になるのは、それ
ではこのやうな衝撃波がなぜ音
速と關係があるかといふことに
なるが、その理由は現在ではよ
く分らない。偶然の一致と考へ
るより致し方がないが、とにかく、
音速が境界になることは事
實である。

次にこの音速の高度による
變化を調べてみよう。
空気の音速は温度によつて
一番大きな變化を受け、地上に
おける標準大気（海抜零メートル）
六千メートル、気温十五度では、音速は
毎秒三百四十メートル（毎時約
二千三百六十）であるが、これが高度
十一キロ以上では毎秒二百九十
五メートル（毎時約二千七百九十）
となる。

約一三%を減少することにな
る。

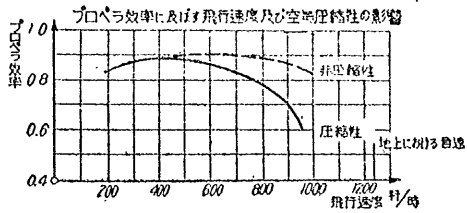
一方、プロペラは飛行機のい
づれの場所よりも一番さきにと
この音速に近づくと、問題が大
きいのである。
それはプロペラの先端の周速
度は、現在でもこの衝撃波を避
けるために音速の約九割以下に
制限してゐるのであるが、プロ
ペラは回転すると同時に前進す
るので、飛行速度とプロペラ回
轉速度の合成速度が實際の問題
となる。

例へば、飛行速度毎時七百二
十キロの飛行機が、高度十一キ
ロで合成速度が音速になるときの
プロペラ先端の周速度は、約
毎秒二百四十メートルとなつてし
まふ。
このやうに、プロペラ周速度
が減少すると、高空において發
動機の出した馬力を吸収するた
めには非常に大きな直徑のプロ

ペラを低回轉で回轉するか、
プロペラを前後二重に分けた二
重反轉プロペラが必要になる
（例となれば、プロペラの吸收する馬力
は空気の密度の二乗と、回轉数の二乗と、プロ
ペラ直徑の五乗に比例して變化する）。

このやうな考へから大きなプ
ロペラや二重反轉プロペラを裝
備するといふことは、飛行機全
體から考へると、飛行機の降着
装置が長くなつたり、プロペラ
自體がその可變機構等のため、
非常に重くなつたりして、不利
になつてしまふので、實際問題
としては、プロペラの周速度が
音速に近づいて効率が悪くなつ
ても、少々我慢しなければなら
ない場合も起る。このプロペラ効
率が飛行速度と共に如何に變化
するかの一例を示すと、第十五
圖の通りである。この第十五圖
は地上の場合であるが、高度が
増すと共に音速が減少するので
効率の減少位置は左に移動する。

第十五圖

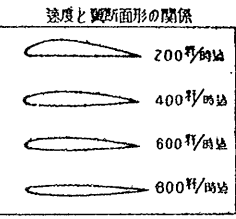


この空気の壓縮性に原因する
損失を軽減する方法としては、
プロペラや主翼の翼断面形を薄
くして、いままでと逆に先を鋭く
細くした第十六圖のやうな翼断
面形を使用することによつて、
或る程度解決できるが、勿論こ
れには限度がある。
以上の考察からプロペラと高

高度飛行の關係については次ぎ
のやうなことがいへる。

プロペラ形式による飛行機で
は、飛行高度を上げるほど飛行
機の最大限界速度は減少し、海
面高度では最大限界速度は約毎
時千キロ出得るに反し、高度
十一キロ以上では、プロペラだ
けではその最大限界速度は毎時
約九百キロが限度であらう
（この意味から、さきに説明した飛行機による
速度向上にも限度があつて、高速飛行機
も最大限界速度の約八割、即ち毎時約七
百五十キロ程度が速度向上に保
証があるといつたのである）。

第十六圖



さてそれでは人類は飛行機の
速度を以上のやうな速度でいつ

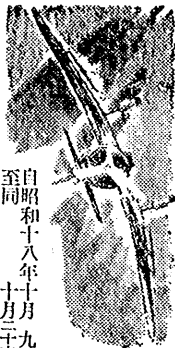
までも満足してゐるかといふこ
とになるが、これは決して満足
してゐない。今度はプロペラ型
式でない推進機がこの難關を
突破しようとする。そこで噴流
推進機（ジェット推進機）が問題になつ
てくるのである。

いまここで噴流推進機の詳
細な説明を行ふ紙面の餘裕がな
いので、噴流推進機のもつ役割の
一部を説明しておかう。
噴流推進機といふものにも多
くの種類があつて、例へば、飛行
機の速度による動壓で空気を壓
縮して、これに燃焼によつて熱
を與へて加速噴出させる普通動
機と、これに更にプロペラで
空気を機械的に壓縮する壓縮噴
流式や、噴出の際そのエネルギー
の一部を利用してタービンを
回して壓縮するガスタービン式
や、プロペラとガスタービンを
備へたガスタービンプロペラ式
等がある。

これ等の噴流推進機は、いづ
れも一長一短はあるが、大馬力
を必要とする大型機用で効率の
よいものとしてはガスタービン
プロペラ式が有利とされてゐ
る。

いまこの噴流推進機と、従来の
プロペラ推進機の効率を比較し
てみると、この効率を、燃料の
もつてゐる全熱エネルギーを運
動のエネルギーに變換させる原
動機の内部効率と、これを更に
推力のなす仕事に換へるプロペ
ラ効率（即ち外部効率）の二つに
分けると、従来の發動機とプロ
ペラによる全効率は、發動機の
内部効率を0.5とプロペラ
の外部効率を0.8とすると
0.4であるが、噴流推進機では、
0.6であるが、噴流推進機では、
内部効率は0.8で外部効
率は0.9位であるから、全効率
は0.72と0.44×0.82
となり、高速時には噴流推進機

大東亞戰爭日誌



47

自昭和十八年十月九日
至同 十月十六日

十月九日(土)
コロンバンガラ、ベララへラ轉進
コロンバンガラ島、ベララベラ島の
陸軍守備部隊は、所在の敵に多大の
損害を與へた後、殆んど敵の妨害を受
けることなく後方基地に轉進した旨、
大本營より發表されたが、この間、帝
國海軍艦艇、航空部隊は、次ぎの戦果を
挙げた

(一) 航空部隊は十月一日、ベララベラ
島、ビロア附近で敵機艦艇一隻、中型輸
送船二隻、小型輸送船一隻を撃沈、中
型輸送船一隻を撃破、敵機十機を撃
墜、一機を撃破
我が方の損害 自爆および未歸還八機
(二) 水雷艦隊は六日、ベララベラ島西
方において敵巡洋艦、驅逐艦各三隻と
交戦、巡洋艦一隻、驅逐艦三隻を撃沈

とプロペラ推進機構とは全効率
において餘り差がなくなる。し
かし、これは時速千キロ位で飛
んだ場合である。
以上のやうに、効率のみを考
へると高速度時には噴流推進も相
當有望であるが、低速になると
この効率は非常に悪くなるし、
噴流推進機では燃料消費量が莫
大な量が必要とするので、今日
へられてゐる噴流推進機では、飛行機と
してはせいぜい三分乃至一時間位しか
使用できない。現在では、噴流推進
機は、排氣ロケットと同様に、
機體上昇時または最大速度を離
間的に必要とする場合に補助推
進機として使用することを第一
の目的として、プロペラ推進機
と併用するのが有利で、プロ
ペラの代りに、噴流推進機構が
全部置き換へられると考へるの
は早計である。しかしいづれに
しても、高々度で時速千キロ以
上の高速度を得るためには、どう

してもこの噴流推進の力に依た
ねばならない點で、大いにその
價値があるのである。
なほ、このほかに空気の力學的に
は、前述のプロペラの場合と同
様に、空気の壓縮性の影響によ
る衝撃波の發生の防止、大きな
揚抗比を得てしかも最小揚力係
數を出来るだけ小さくするため
に、翼や胴體の表面の流れを出
来るだけ厚流(流れない)にする
ための厚流翼の問題や、成層圏
に速く達するため上昇率を大き
くし、また大型機の離陸滑走距
離を短縮するための、揚力を出
来るだけ大きくしてしかもなる
べく抗力増加の少い高揚力翼盤
の問題等を解決しなければなら
ない。
また高々度飛行に關聯して起
る安定性、操縦性の變化も見逃
すわけにはゆかない。
例へば、飛行機の運動に對す
る操舵の効果、即ち舵の効きが高

度と共に悪化し、また動搖が減
衰するに要する時間が永くなつ
て、動的安定が悪くなるので、
これ等の影響を考慮して高々度
機は安定性、操縦性を適度にき
めなければならぬ。
なほ今までのやうに地形を目
標として飛んでゐた飛行が、高
高度飛行になると、殆んど盲目飛
行になるので、いろいろ飛行路
を示すための電波機器、計器が
必要になることも當然である。
以上で成層圏飛行に關聯する
諸問題を常識的に一應説明した
が、これを總括するといいたい
次のことがいへよう。
(一) 成層圏飛行を行ふことによつて
飛行機の性能を向上することが出来
る。しかしこれには限度があつて、速度
が時速千キロ乃至千五百キロま
で、これ以上の高速度に對しては、か
へつて不利なる場合が多い。
(二) 以上の理由から成層圏飛行は、
特に長距離機及び長距離大型輸送機
に最も必要である。
(三) 成層圏飛行は、氣象條件を受ける
こと少く飛行できる。特に温帯地方では

成層圏下の西風の利用と、北極附近の
成層圏飛行が有利であるといふことを見
逃してはならない。
(四) 成層圏飛行は、軍用機では、地上
兵隊の國境を受けること少く、飛行性能
を向上しながら遠征飛行が出来る。
(五) 成層圏飛行は、天文、氣象、物理、
化学等の基礎研究上、特に必要性がある。
(六) 成層圏飛行の難點は、推進機構
の行詰りと原動機の馬力減少と冷却の合
理的解決及び人員保護対策を、極端にし
かも安全に解決することの困難が最も大
きい。
(七) 成層圏機を軍用機として運用す
るに必要なのは(六)の對策のほか、特
殊燃料、電波計器、その他の諸計器及び
これに要する材料がその機を運んで
ゐるといへる。
なほ、終りに附言したいこと
は、以上のやうな技術的諸問題
を急速に解決するためには、基
礎科學と技術が渾然一體となつ
て、「組織ある研究」がその根本
であるといふことと、この解決
が今度の戦争を最も大きく支配
するといふことである。
(技術院)

我が方の損害 驅逐艦一隻を失ふ

十月十日(日)

支那方面航空部隊の綜合戦果
陸軍航空部隊は、在支敵航空勢力、と
くに米空軍基地を攻撃すると共に、敵
軍事施設船舶を爆撃、或ひは來襲敵
機を邀撃、敵の運動企圖を撃破中であ
るが、七月下旬から十月上旬までに次
ぎの綜合戦果を挙げた

十月十二日(火)

ラバウルで十七機を撃墜
海軍航空部隊陸軍地上部隊は、ラ
バウルに來襲の敵機二百を攻撃、空中
戦により八機を撃墜、四機を撃破、地
上砲火により五機を撃墜
我が方の損害 自爆炎十五機、沈没船
一隻

十月十三日(水)

海軍將兵に論功行賞
第十七回海軍第九、第十回大東亞戰爭死

著論功行賞の御沙汰あらせらる

中支軍、太湖南方に新作戦
中支軍は、十月一日、太湖西南方地區
に敵機戦を展開、宣城、廣徳その他の
諸要衝を占領し、將來も引續き確保す
るが、今日までに次ぎの戦果を挙げた
遺棄死體一千八百、俘虜四百、迫撃砲一
八、重砲機五、小銃一千八百その他

十月十四日(木)

フィリピンに軍政を繼續
フィリピンに先立ち、黒田フィリ
ピン方面陸軍最高指揮官は、占領地區内の
軍政を撤廢する旨、布告

十月十五日(金)

ブナ灣で敵船五隻を撃沈
海軍航空部隊は、ブナ(ニューギニア)灣
に在泊中の敵輸送船團を攻撃、敵百機
以上と交戦、次ぎの戦果を挙げた
撃沈敵 輸送船大型四隻、中型一隻
撃破 敵機 十四機以上
我が方の損害 自爆および未歸還十五機

十月十六日(土)

陸軍將兵に論功行賞
第十八回陸軍第十一回大東亞戰爭死

第七十一回陸軍五十二回支那非難死後論
功績の御沙汰あらせらる

十月二十二日(金)

サラモア、ラエより前進
(一) サラモア、ラエ(ニギギ)附近
近で勇戦中の我が部隊は、敵に甚大の
損害を與へた後、九月上旬より逐次轉
進を開始し、十月中旬、ラエ北方地區
に集結を完了
この期間、敵に與へた損害は、推定二万
二千以上
我が方の損害、戦死約二千名
(二) また、マタン附近の我が部隊
は、十月上旬以来、ラム河上流右岸地
區に推出の敵と交戦中
(三) フィンシハー(ン)附近の我が
部隊は、同地北方地區に上陸の敵を攻
撃中であつたが、彼我ともに兵力を増
加、十月十一日以降、激戦を展開中
(四) 陸海軍航空部隊は、攻撃に邁
撃に連日、激烈な戦闘を繰返中である
が、九月一日以来、次の戦果を挙げた
撃墜 百六十四機(うち敵機十二機)
撃沈 五機
巡洋艦四隻、驅逐艦二隻、輸送船
十八隻、魚雷艇六隻、海上トラン
ク四隻、舟艇多数
巡洋艦六隻、驅逐艦六隻、輸送船
二十一隻、魚雷艇二隻、海上ト

十月十九日(火)

タイ新領土下の軍政を撤廢
南方軍では、タイ國に移設のマライ北部
四州およびシャンニ州における軍政を撤
廢し、八州に編入した旨、發表
中蘭中將、南支那で機上戦死
航空兵團長中蘭盛孝中將、南支那方面で
航空作戦を指揮中、九月上旬、機上で戦死
した旨、陸軍省發表

十月二十日(水)

吳鎮司司令官に野村中將
吳鎮司司令官長官に野村直邦中將が親補
された旨、海軍省公表
南支那、一ヶ年の総合戦果
交戦回数六九二、交戦戦兵力七万八千三
百、敵戦死七千五百以上、捕虜約一千七
百、各種火砲四四、重機八九、小銃約四
千五百、拳銃約一千百その他多数

十月二十三日(土)

ラック五隻、舟艇多数
我が方の損害、四十九機
鬼塚部隊の偉勳、上聞に達す
ガダルカナル作戦に偉勳を樹てた鬼塚部
隊に對し感状が授與され、上聞に達した
旨、陸軍省發表

十月二十六日(火)

ソング河口で激戦展開
フィンシハー(ン)近(ニギギ)北方地
區の我が部隊は、激戦を展開中であ
るにソング河口附近の戦闘は激烈を極
めてゐるが、現在までに次の戦果を
挙げた
遺棄死體約二千、火砲十四門、銃器約六
百挺
我が方の損害、戦死約三百五十名
武漢地區一ヶ年の総合戦果
中支軍は過去一ヶ年に亘り武漢周邊
において大別山作戦、春季、夏季作戦
を始め三千回に達する掃蕩戦を敢行、
次の総合戦果を挙げた
遺棄死體約八万二千、俘虜、擄約七万
九千、火砲三八、重機一千五十三、
小銃約二万五千その他

通風塔

自分だけの
氣持を捨てよ
ソロモン海域の
大饑饉、大東亞會
議の劇的情景の發
表と同じ紙面に
一人前三十圓の夕食を喰はせる
怪しからぬ料理店の摘發が記載
されてゐた。
輝かしい大饑饉に思はず萬歳
を唱へたとたんに、暗然として
しまつたのは恐らく私一人では
ないであらう。
かつて他の料理屋が摘發され
たとき、會員の氏名を發表せよ
との議論が新聞紙上にも現はれ
たが、自分はさうまでしなくと
も、今度の發表をみまきとして
て、こんな不都合な國民のすべ
てが矯正されるものと固く信じ
てゐた。
ところが今度の記事で、この
種のもが、その後も跡をたゞ
なかつたことを知つて、裏切ら
れた淋しさは激しい怒りとなつ
てゐる。
會員の名前を公表することに

絶対に賛成である。
業者も勿論怪しからぬが、い
くら高價を支拂つても自分だけ
は他人より美味いものが喰ひた
いと欲するやうな人は、もはや
この國家興亡の決戦下に害毒こ
そあれ必要はないのではないだ
らうか。
次ぎにまた擧るであらう大
饑饉の發表に、こんな暗い氣持
を持たされることなく、心から
明るく萬歳を叫ぶために、こ
の種行爲の絶滅を期したいもの
である。(東京朝日新聞 眞木正徳)

取締りの所を望む
戦局の重大化とともに、統後
の經濟統制違反が戦力に大なる
悪影響を及ぼすことは、國民の
總てが知り盡してゐる筈であら
う。しかるに今日では、闇取引等
の不正行爲を敢へてなす徒輩が
後を絶たないのは、われわれの
悲憤の極みである。
これら非國民に對しては、も
はや百萬の説法よりも一の斷
行、たゞく當局の思ひ切つた
一大處置を俟つのみである。
現在のやうな温情的な取締
いはゆる親心政治は、ますます

これら非國民の跳梁を止し、
まことに、遂には國民の憂國の
至情から、國民同志の憂ふべき
粉料が起らないといへず、甚
だ憂慮に堪へない次第である。
(兵庫縣 吉川理夫)

國民座右銘

- 十八日 先んずれば人を制し、後れば人に制せらるる
- 十九日 志深くば小事どもの心にかかるとはある
- 二十日 小人の學は身より入りて口に出づ、口耳の
- 間は則ち四寸のみ
- 二十一日 處に於て實をおこなふべし、實に於て處に
- あそぶべからず
- 二十二日 若木の下で笠を脱げ
- 二十三日 朝夕に長田狭田の稲のたねをくふも皇恩なり
- 二十四日 知つて行はざるは知らざるに同じ

日本出版會(門外)推薦圖書

種別	書名	編著者	巻数	賣價	發行所
専門	原子物理学	松本正士	A	五七	河出書房
専門	戦国時代和歌	川田 順	四六	四六	甲陽書林
少年	国防の先聲	中 貞夫	B	一六	東亞書院
少年	本天山	三浦正雄	B	五	中央書局
少年	僕ハ海鷲	三浦正雄	B	五	中央書局
少年	ジャワノキナ	三浦正雄	B	五	中央書局

大蔵省 日本勸業銀行

11月補償 貯蓄債券 當籤番號(共ノ一)

支拂開始期 12月1日

支拂場所 日本勸業銀行本支店、出張所、代理店及集配郵便局

全富額 500萬圓(含利息)

昭和十八年十一月 大蔵省 日本勸業銀行

10	340	3629	3438	9771	1408	3140	8327	12082	16788	8103	273.49	29886	34379	38969
11	327	3536	3457	9743	1456	3215	8589	12162	6861	21227	235.98	29874	34414	39031
12	467	2641	3522	9804	1526	3284	8474	12198	6862	21222	235.98	29920	34468	39077
13	322	2762	3609	8820	1560	3236	8529	12244	6873	21234	235.98	30078	34517	39128
14	235	3999	3636	8844	1688	3290	8664	12277	6884	21238	237.42	30225	34571	39178
15	602	3012	3645	8932	1781	3225	8731	12306	6889	21433	237.54	30342	34625	39216
16	659	3141	3745	8976	1845	3260	8949	12373	6894	21433	238.58	30404	34679	39266
17	746	3235	3797	9012	1937	3252	8847	12355	6904	21448	238.66	30418	34724	39316
18	814	3320	3899	9107	1987	3284	8949	12355	6914	21463	238.66	30432	34779	39366
19	886	3406	3907	9136	2040	3263	9125	12355	6924	21463	238.66	30446	34834	39416
20	846	3376	4122	9186	2046	3274	9250	12355	6934	21463	238.66	30460	34889	39466
21	834	3383	4129	9265	2112	3298	9224	12355	6944	21463	238.66	30474	34944	39516
22	253	3400	4243	9350	2127	3298	9397	12355	6954	21463	238.66	30488	35000	39566
23	468	3420	4243	9350	2288	3294	9529	12355	6964	21463	238.66	30502	35056	39616
24	1007	3458	4276	9395	2305	3284	9529	12355	6974	21463	238.66	30516	35112	39666
25	1004	3603	4284	9402	2305	3284	9529	12355	6984	21463	238.66	30530	35168	39716
26	1013	3612	4347	9441	2305	3284	9529	12355	6994	21463	238.66	30544	35224	39766
27	1081	3650	4374	9476	2305	3284	9529	12355	7004	21463	238.66	30558	35280	39816
28	1028	3716	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7014	21463	238.66	30572	35336	39866
29	1030	3716	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7024	21463	238.66	30586	35392	39916
30	1049	3748	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7034	21463	238.66	30600	35448	39966
31	1078	3788	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7044	21463	238.66	30614	35504	40016
32	1095	3815	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7054	21463	238.66	30628	35560	40066
33	1195	3825	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7064	21463	238.66	30642	35616	40116
34	1208	3897	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7074	21463	238.66	30656	35672	40166
35	1280	3881	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7084	21463	238.66	30670	35728	40216
36	1330	3895	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7094	21463	238.66	30684	35784	40266
37	1336	3927	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7104	21463	238.66	30698	35840	40316
38	1421	3945	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7114	21463	238.66	30712	35896	40366
39	1421	3945	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7124	21463	238.66	30726	35952	40416
40	1506	3962	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7134	21463	238.66	30740	36008	40466
41	1460	4015	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7144	21463	238.66	30754	36064	40516
42	1494	4037	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7154	21463	238.66	30768	36120	40566
43	1729	4266	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7164	21463	238.66	30782	36176	40616
44	1733	4171	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7174	21463	238.66	30796	36232	40666
45	1753	4205	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7184	21463	238.66	30810	36288	40716
46	1740	4231	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7194	21463	238.66	30824	36344	40766
47	1748	4287	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7204	21463	238.66	30838	36400	40816
48	1745	4303	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7214	21463	238.66	30852	36456	40866
49	1821	4337	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7224	21463	238.66	30866	36512	40916
50	1852	4376	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7234	21463	238.66	30880	36568	40966
51	1849	4336	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7244	21463	238.66	30894	36624	41016
52	1873	4394	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7254	21463	238.66	30908	36680	41066
53	1762	4647	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7264	21463	238.66	30922	36736	41116
54	1812	4649	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7274	21463	238.66	30936	36792	41166
55	1812	4649	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7284	21463	238.66	30950	36848	41216
56	1913	4710	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7294	21463	238.66	30964	36904	41266
57	1920	4716	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7304	21463	238.66	30978	36960	41316
58	2014	4720	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7314	21463	238.66	30992	37016	41366
59	2021	4770	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7324	21463	238.66	31006	37072	41416
60	2021	4804	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7334	21463	238.66	31020	37128	41466
61	2021	4893	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7344	21463	238.66	31034	37184	41516
62	2062	4910	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7354	21463	238.66	31048	37240	41566
63	2125	4991	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7364	21463	238.66	31062	37296	41616
64	2125	5009	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7374	21463	238.66	31076	37352	41666
65	2276	5075	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7384	21463	238.66	31090	37408	41716
66	2276	5100	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7394	21463	238.66	31104	37464	41766
67	2327	5127	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7404	21463	238.66	31118	37520	41816
68	2327	5141	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7414	21463	238.66	31132	37576	41866
69	2327	5141	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7424	21463	238.66	31146	37632	41916
70	2327	5141	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7434	21463	238.66	31160	37688	41966
71	2431	5189	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7444	21463	238.66	31174	37744	42016
72	2431	5205	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7454	21463	238.66	31188	37800	42066
73	2431	5211	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7464	21463	238.66	31202	37856	42116
74	2431	5211	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7474	21463	238.66	31216	37912	42166
75	2431	5211	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7484	21463	238.66	31230	37968	42216
76	2431	5211	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7494	21463	238.66	31244	38024	42266
77	2431	5211	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7504	21463	238.66	31258	38080	42316
78	2431	5211	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7514	21463	238.66	31272	38136	42366
79	2431	5211	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7524	21463	238.66	31286	38192	42416
80	2431	5211	4398	9481	2305	3284	9529	12355	7534	21463	238.66	31300	38248	42466

週間日誌

十一月四日(木)

出版事業整備要綱と交易業整備要綱を閣議で決定

十一月五日(金)

海軍航空部隊のモノノ島方面追加戦果を大本營発表

海軍航空部隊のブーゲンビル島方面戦果を大本營発表

ブーゲンビル島に敵部隊上陸(二日)に關し大本營発表

海軍航空部隊のブーゲンビル島沖海軍に關し大本營発表

海軍航空部隊、海上部隊、地上部隊のラバウル、ブカ方面戦果を大本營発表

帝國議事堂において大東亞會議を開催

十一月六日(土)

海軍航空部隊のブーゲンビル島沖海軍に關し大本營発表

中支軍、洞庭湖西方に新作戦を展開の旨、大本營発表

大東亞會議で大東亞共同宣言を採擇

東條内閣總理大臣、大東亞會議でアンダマン諸島とニコバル諸島を近く自由印度假政府に歸屬せしむ用意ある旨を闡明

ドイツ軍、キエフを撤收

朝香宮彦王殿下、李鴻公殿下、大勳位に授けられ、菊花大綬章を授けらる

日比谷公園で大東亞結束國民大會を開催

十一月八日(日)

敵のアキア反攻を破壊、倭助を樹てた古閉兵團主力、同配屬部隊、同協力部隊に對し感狀が授與され、上間に達した旨、陸軍省発表

陸軍航空部隊のマザブ、マラワサ(ヘイゲン)戦果と陸軍部隊のフィンシャー方面戦果を大本營発表

十一月九日(火)

海軍航空部隊の第二次ブーゲンビル島沖海軍に關し大本營発表

十一月十日(水)

第八十四回帝國議會召集(十二月十四日の詔書公布)

第二次ブーゲンビル島沖海軍航空戦の追加戦果を大本營発表

次目

第三七三號
昭和十八年十一月二十一日

ソロモン戰局の新展開.....大木營海軍報道部・一

決戦態勢強化方策に即應する兵役法の改正.....陸軍省

Table with columns for 戦時債券 (War-time Bonds), 國債 (Government Bonds), and 債権 (Debt). It includes serial numbers, denominations, and interest rates. The table is organized into several sections with sub-headers like '10' and '4'.

Weekend news section containing several articles. Key headlines include: 'ソロモン戦局の進展' (Progress of the Solomon Islands battle), '海軍航空隊のブーゲンビ' (Naval Air Force's Bougainville), and '第八十四回帝國議會召集' (84th Imperial Diet Session). The text is arranged in vertical columns.

Table with columns: 週報 (Weekly Report), 御注意 (Attention), 所込申 (Submitted), 御定 (Fixed), and 意注 (Remarks). It contains a list of items and their corresponding status or details.

露光量違いにより重複撮影 (Overlapping photography due to light exposure differences)

情 報 局 編 輯

週 報

十一月二十四日

食糧増産と土地改良

土地改良の原理
暗渠排水・小用排水
客土・水田造成・農道
土地改良で増産した實例

十二月の常會徹底事項

世界戦局の概況

371 號

昭和十六年十一月二十四日 第三種郵便物認可
印刷局印刷發行 (國定規格品判)

週 報

昭和十六年十一月二十四日 第三種郵便物認可
印刷局印刷發行 (國定規格品判)

印刷局印刷發行 (國定規格品判)

印刷局印刷發行 (國定規格品判)

印刷局印刷發行 (國定規格品判)

五 錢

敵撃つ戦力を
を増強し

十一月
郵便年金普及強調運動

郵便年金

三千六百円
の年金が
一生貰へる

郵便局で説明書進呈